

長崎市に住む人、働く人、学ぶ人が互いに“顔見知り”になることを目的とした「井戸端パーティー」。
ホームページでさまざまな交流の場を紹介しています。

中央地域センター ☎829-1418

Q 井戸端パーティー

ホームページ Instagram Facebook



井戸端パーティーを活用しているかたをご紹介します！

長崎の消えゆく「昭和の日常」を伝えたい

記事全文は上記ホームページで。

まいにち長崎

岡村 真理 さん



今回の井戸端peopleは「昭和の日常」を今に伝える団体「まいにち長崎」副代表の岡村さん。「昭和の長崎での日常やエピソード」を記録・保存し次世代に伝えようと、イベントやSNSで発信をしています。

「昭和を知る人々が元気なうちに話を聴いて、記録したい」と語る岡村さん。イベントでは「昭和」と「今」の長崎の写真を中心に生活道具やおもちゃを展示。さらに当時を知るかたをゲストに座談会やまち歩きを行っています。

各SNS上では約7,000人のフォロワーと積極的に交流。長崎の何気ない日常や街並みを発信・共有していて、県外在住の長崎出身者などから「懐かしい」との声が寄せられています。昭和レトロブームもありSNSをきっかけに若者や観光客がイベントに参加し、地元の人々と多くの交流が生まれているのだとか。今後は「昭和の日常エピソード」の冊子を発行予定。SNSやイベントを通じて昭和の日常にふれてみませんか。

わがまち 自慢 調査し隊

亀なのに、牙や耳があることから龍の子という説もあるみたい。



お題

大音寺の大亀の塔(寺町)

碑文を解読すると大亀が動き出す?!

皓台寺、本蓮寺と共に長崎三大寺と呼ばれて親しまれている大音寺。大音寺を創設したと言われる伝譽は、修行を重ねてこのお寺を拠点に布教を始めたんだって。当時の長崎はキリシタンの町で、布教はとても難しかったみたい。

そんな大音寺には巨大な亀の塔があって、亀の上にある「伝譽の碑」には、伝譽の功績をたたえる内容が。この碑文は全て漢文で書かれていて、全部で約600文字！碑文をすべて解読すると、その亀が動き出すと言われているよ。

1行解読することでさえ難しいこの碑は、山門の先にある階段をのぼってすぐ左にあるよ。自信がある人は解読に挑戦してみてね。

まちの自慢を募集！

「広報ながさき」で紹介して欲しい、まちの自慢を募集しています。自薦・他薦は問いません。はがきか市ホームページでご応募ください。

